固定資産税課税事務（家屋）
（R4.10.11～10.21）

研修受講に関する留意事項（受講生用）

1　提出書類について

提出書類等について、当研修所のホームページ（https://www.jamp.gr.jp/の「研修案内」⇒「研修一覧」⇒　該当する研修　⇒　「研修受講に関する留意事項・提出書類一覧」をクリック）からダウンロードして作成の上、下記の要領で提出・持参してください。

提出書類	提出方法	提出期限
（１）研修受講申告書	メールで提出 choken@jamp.gr.jp	9月20日（火） 12:00まで
（２）非木造家屋の評価実務に関する状況調査票 ※「非木造家屋の評価実務」受講希望者のみ		
（３）償却資産課税の実務に関する状況調査票 ※「償却資産課税の実務」受講希望者のみ		
（４）課題解決フォーラム調査票		
（５）目標設定シート	１部持参	研修当日

※　電子メールで提出する場合は、必ずメールの件名を【科目名、所属団体名、氏名】としてください。
（例）【固定資産税課税事務（家屋）、●●市、幕張太郎】事前課題提出書類の提出について

2　提出書類の作成について

提出書類は、下記の要領で作成してください。なお、当研修所のホームページからダウンロードした様式（研修科目別）を必ず使用してください。

（１）　研修受講申告書

①　「研修のしおり」及び研修資料等の内容を確認し、研修所のルール等について承諾の上、受講生本人が必要事項を記入してください。

②　「所属歴」については、現職及びその１つ前の「所属名及び職名」を記入してください。
例：○○局○○部○○課○○係主事

③　「現在の所属及び職名」に記入していただいた内容は、研修時に配布する名簿等に使用します。

④　「現在の職層」については、該当する選択肢に☑チェックしてください。

⑤　「連絡事項」については、身体の障がい、重度の食物アレルギー等、研修所に配慮を要望する事項等がある場合に必要事項を記入してください。

⑥　「クラス役員に関する意向確認」については、該当する選択肢に☑チェックしてください。研修を円滑に運営するため、受講生の皆様にクラス役員（代表幹事、副幹事、教室委員、演習座長）の協力をお願いしています。クラス役員の役割等については「研修のしおり」（Ｐ１）をご確認ください。

⑦　「選択課目の意向調査」については、次の２つのテーマから１つを選び、該当する選択肢にチェックしてください。なお、「１　非木造家屋評価実務」については、大規模なビルを対象としていますので、ご注意ください。

1　非木造家屋評価実務
2　償却資産課税の実務

⑧　「研修フォローアップ調査に関する意向確認」については、該当する選択肢に☑チェックしてください。研修フォローアップ調査に「応じてもよい」と回答し、調査対象に選ばれた場合は、研修受講後に、受講生の所属長及び受講生本人に、研修フォローアップ調査（Ｗｅｂアンケートに回答していただく形式を予定）についての協力依頼をお送りします。所属長に意向を確認の上、回答してください。

（２）　非木造家屋の評価実務に関する状況調査票　※「非木造家屋評価実務」受講希望者のみ
「非木造家屋評価基準」において、受講生のレベルに合わせて講義を行うことを目的として、提出していただくものです。記載要領は、調査票の様式をご確認ください。

（３）　償却資産課税の実務に関する状況調査票　※「償却資産課税の実務」受講希望者のみ
「償却資産課税の実務」において、受講生のレベルに合わせて講義を行うことを目的として、提出していただくものです。記載要領は、調査票の様式をご確認ください。

（４）　課題解決フォーラム調査票
日常の実務において問題になっていることや、疑問に思っていることを記入し、提出してください。

（５）　目標設定シート
項目１～３について記入してください。項目４については、研修最終日に記入し、提出していただきます。

３　受講前の事前準備等について

（１）　課題演習Ⅰ・Ⅱについて
当演習では、課題演習として、８問程度の事例について、班に分かれてグループ討議を行い、班ごとにすべての事例について考えをまとめ、発表していただく予定です。詳しくは、「課題演習Ⅰ・Ⅱについて」を参照してください。

（２）　木造家屋評価演習について
当演習では、住宅展示場のモデルハウスを教材として現地調査を行い、実際に評点付設を行います。また、実地調査に基づき討議や検討を重ね、発表していただく予定です。詳しくは、「木造家屋評価演習について」を参照してください。

（３）　ｅラーニングによる事前学習の実施について
この研修科目においては、ｅラーニング（所要時間２時間程度）による事前学習を実施いたします。詳細については、別途郵送する「ｅラーニングによる事前学習の実施について」を確認ください。
※受講期間：令和４年９月９日～令和４年10月11日

（４） 持ち物（新型コロナウイルス感染症防止対策のため、研修生同士の貸し借りはご遠慮ください。）

必ず持参いただくもの

①資料

□・課題演習Ⅰ　≪課税・評価事務の基礎≫　演習事例１～８　（同封資料）

□・課題演習Ⅱ　≪評価の実務≫　演習事例１～８　（同封資料）

□・課題演習Ⅰ・Ⅱ　≪参考資料≫　課税・評価のポイント集　（同封資料）

□・図面　木造家屋評価演習（第三展示場・評価計算、発表資料）　（同封資料）

※　当該資料を使用して実地調査及び評価計算を行います。

□・自主研修資料　木造家屋評価演習（第二展示場・パンフレット）　（同封資料）

※　実地調査は行いますが、評価計算は行いません。

持参されることをお勧めするもの

※研修生への一括貸出用のご用意はございません。

①資料

□・各自治体の評価マニュアル（手引）

□・各自治体の木造専用住宅用の「家屋調査票（又は家屋調査結果記録表）」

②図書

□・評価ハンドブック―令和３年度固定資産評価基準― [一般財団法人地方財務協会　発行]

□・令和３年度　固定資産評価基準解説(家屋篇) [一般財団法人地方財務協会　発行]

③文房具等

□・蛍光ペン（色は問わず）含む筆記用具

□・メジャー

□・三角スケール

□・定規（15～20 センチ程度のもの）

□・電卓

□・メモ帳、ノート（展示場内でも記入のしやすいもの）

□・画板（職場の実地調査で使用しているもの）

④その他

□・デジタルカメラ（カメラ付携帯電話等でも可、必要に応じて使用）

□・歩きやすい靴

□・帽子（熱中症対策）

□・雨具

４その他

（１）　「研修のしおり」をよく読んだ上で、研修に参加してください。「研修のしおり」は、当研修所のホームページ（ＨＰ：「受講生の方へ」⇒「研修のしおり」）に掲載しています。

（２）　本研修の「時間割」は、研修開講の約１ヵ月前を目途に、当研修所のホームページ（「研修一覧」⇒（該当する研修科目のページ））に掲載します。

（３）　新型コロナウイルス感染症防止対策として、宿泊室以外ではマスクを必ず着用してください。

（４）　当研修所に入所した際に、緊急連絡先等の情報を記入していただきますので、緊急時に連絡の取れる方と、その連絡先を事前に確認しておいてください。

（５）　当研修所においては、新型コロナウイルス感染症の感染予防の措置を講じた上で計画に基づいて研修を実施しているところですが、今後の感染拡大の状況によっては、研修の開催を中止又はオンラインに振り替えて実施する場合があります。

（６）　当研修所では、５月１日から１０月３１日までを夏季における軽装期間としております。期間中は、所内での軽装励行のため、開講式・修了式を含め、上着及びネクタイ等を着用する必要はございません。

　冷房による室温は２８度に設定していますが、体温調節ができるよう各自で対策をお願いします。また、熱中症予防のため、各自で適宜水分補給をお願いします。

（７）　公益財団法人東京税務協会専門講師につきましては、研修期間中長時間の講義となるため、講義時間外の講師への口頭による質問はお控え下さい。質問方法につきましては、研修初日の開講オリエンテーションで説明します。

（８）　本研修でのレポートの提出はありません。

【連絡先】
市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）
担当教授：小田　江美　　（研　修　部）E-mail　e-oda@jamp.gr.jp
担当主査：森見　陽子　　（調査研究部）E-mail　y-morimi@jamp.gr.jp
※提出資料をメールで送信する場合は、choken@jamp.gr.jp 森見宛に提出してください。
〒261-0025　千葉市美浜区浜田１丁目１番
電　話　（研　修　部）043-276-3126　ＦＡＸ　（研　修　部）043-276-5251
電　話　（調査研究部）043-276-3127　ＦＡＸ　（調査研究部）043-276-3329